

統合東中を建設

市営住宅40戸を建設

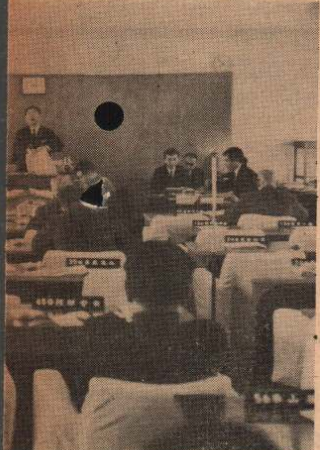
学校関係では、まず、三中和長木中の統合中学校(東中学校)の第一期建築工事にかかり、その建設費約4,300万円を計上しました。

また、今年度は、城南小学校改築の最終年度でもあるので、第4期工事と屋内体育館建設に4,600万円も計上しています。

さらに、ことしは、城西小学校を増築しますし、同小学校にプールも建設いたします。

また花園中学校の校庭を整理したり、バックネットをつくるなど、各学校の設備をととのえていきます。

市民の住宅難の解消をはかるため、ことしは、第2種平家16戸を花園の長森団地に、そして第2種2階建24戸は餅田団地に、あわせて40戸の市営住宅を建てます。



(3月定例会市議会のもよう)

石……… ☆
ち、投資的経費(建設 ☆☆☆
を中心に、新しい事 ☆☆☆☆
ます。夢、っばい ☆☆☆☆
迎えた大館は ☆☆☆☆☆☆
をつづける ☆☆☆☆☆☆

を舗装



昨年から市道の舗装を重点目標にかかげ、12線の市道を舗装しましたが、今年度も、市の単独事業として7,000万円を舗装します。

(舗装工事予定延長5,060m)

その他、大滝東線の舗装工事はじめ三哲山中継所線工事、各市道の側溝改良工事そして24号線など15線の改良工事などに約4,000万円をかけ、市道の整備をはかります。

としのまちづくり

あすの都市づくり

今年の都市計画関係の仕事は、あすの都市づくりのためのアイデアが十分おこまれています。

◆ 下水道施設のプラン

「下水道は文化生活をはかるパロメーターである」といわれるほど市民生活にどってたいせつなものです。

今年はず計画策定委託費480万円を計上し、文化生活の向上に第一歩をふみだします。

◆ 大館駅東大館線を舗装

都市計画道路、大館駅東大館バイパスを舗装するため、2,100万円を計上するとともに、まだ計画が残っている東大館、国道103号線間の開通をめざし、地質調査費や街路築造費など970万円を計上し、バイパスの促進をはかります

◆ 2丁目火災復興

2丁目大火から早や2年と6カ月たちましたが、昨年度から急速に進めていた御成町火災復興事業を今年も引きついで

行ないます。

ことしは、街路工事、整地工事、物件移転補償費などに約2億4,760万という多額の経費をかけ、今年度中には75%の復興計画を達成します。

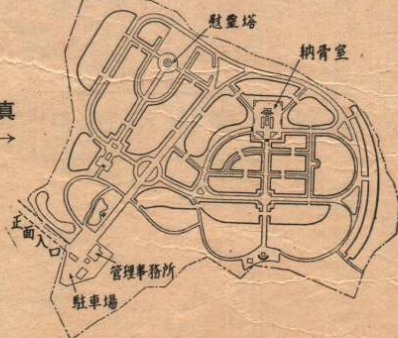
◆ 墓地公園の築造

小柄沢に墓地公園をつくるため、ことしはまず、整地工事や園路築造工事などに665万円を計上しました。

昭和60年の市の計画人口は8万人であり、墓地需要はおよそ1万5千基と推定されますが、これに対して現在の墓地状況は約8千基であり、墓地需要に対して不足しているのが現状です。

この墓地公園の計画にあたっては従来の墓地形式にとらわれることなく美観をともなった、全く新しい感覚をとり入れたもので、完成までには総工費1億9,590万もかかる、スケールの大きい墓地公園です。

墓地公園の青写真



石川市長の市政現況報告

3月定例会の初日、石川市長は、市政の現況報告として、つぎのとりのべました。

＜同和鉱業への土地処分問題＞

ご心配をいただいていた同和鉱業へ旧花矢町有地を売却処分する件は、さる1月の臨時議会で議決をいただき懸案の一つが解決しました。

財産処分に関連ある問題として、その処理を急ぐべきものに、地元部落に生産森林組合を結成させ、これに合併協議会において申し合せをした林野、約100ヘクタールを無償交付する件は、林業構造改善事業促進という形で、目下、鋭意事務手続きを急がせています。

＜2丁目大火の復興について＞

2丁目大火の再建については、関係者の理解と各位のご協力により、復興計画も、区画整理事業施行という形で順調に進み、昨年に引き続き本年もこの復興事業に一層の努力を傾注する所存です。

＜東大橋架橋について＞

私たちの熱望が受け入れられ、すでに橋脚部分の下部工は施行済みであり、今年度は上部工事もなされることと推察しております。私としては皆さんのご協力をいただき、橋の工事のみならず、有浦地区より市役所脇にいたるバイパス道路工事も、一日も早く促進するよう、建設者に強く要望するつもりです。

＜黒鉱開発について＞

わが国最大の産銅地域として、鉱業開発が進められている本市に、驚異の実績をあげておる、同和鉱業、日本鉱業の両社のほか、更に三菱鉱業会社が松木鉱山の本格的操業開始の準備が進められておりますことは、国益のため、また、地域の未利用資源開発、さらに、地域産業の振興に大きな寄与をうながすものとして、心からその操業を歓迎するものです。

とくに、鉱害に対する施設設備と地区住民との間に相互理解を深め、誤解に基づくふん争など起さぬよう、注意を喚起するつもりです。

＜県道・大館小坂線の延長について＞

多年、産業道路兼観光道路として、その促進が願望されております「県道大館・小坂線」を延長して、十和田湖へ通ずる件は、関係団体である大館市、小坂町は、当局と議会その他関係者が一体となって、県にその早期実現を強く要望してまいります。

＜米の生産調整について＞

わが国の当面する重要課題であり、とくに農業県、米生産県としてのわが秋田県の最大の関心事である米の生産調整問題については、さる2月24日、第1回の米生産調整対策推進委員会を開催、本市としてこの問題に対処する態度決定をいたすため、農政関係に明るい方々を委員に委嘱し、調整目標数量1,395.4トンを示し、ご協議願ったところ、原則的に調整に了解をいただいた

2回目の会議を3月3日に開き、配分方法等につき話し合いを願うなど、この重大な課題に取り組んでいくところであり、さらにこの問題は食糧制度の根幹にふれる大問題だけに、関係者のご理解とご協力がなければ成し得ないものであるため、目下、その作業を進めておるところです。

＜市立病院問題について＞

本市にとって、最も大きな問題である市立総合病院の建築については、その概況をのべ、ご理解いただきたいと思ひます。

病院改築工事は、雪どけとともに外こう工事を再開し5月末に完成の予定で、6月6日に落成式を行なう予定です。この完成とともに併行して計画してありました、医療機械等の内容整備は、本省では事業年度前に建物完成という特殊事情を了解していただき、本44年度事業とすることができるとおしがつきました。

一方、医師不足の現状は想像以上で、院長を中心に日夜努力を重ねていますが、現状を確保するさい容易な業でない状態です。この対策としては、設備の充実、環境の整備等を計画していきたいと考えている

また、経営上の問題については、諸物価の上昇の反面、医療費の改訂がこれに伴わないので、経営内容が悪化しつつあり、県の医療機関整備審議会の動向と併せ病院のあり方について再検討する必要があるのではないかと考えています。

いずれ、院長を中心に地域住民の医療確保のため、医師対策を強化していきたいと考えています。